

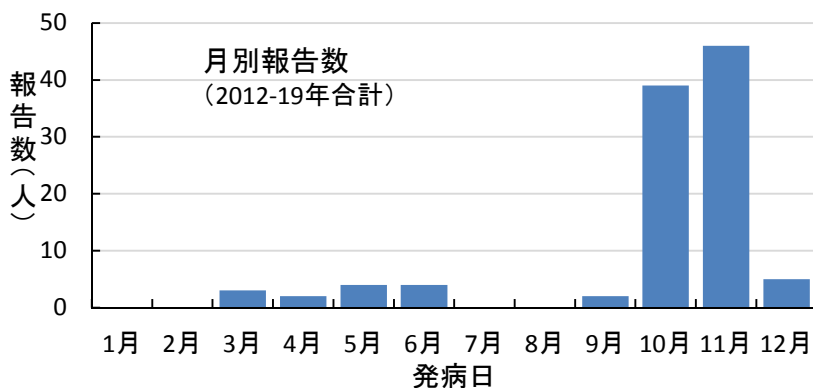
つつが虫病に注意しましょう!

◆ 発生状況

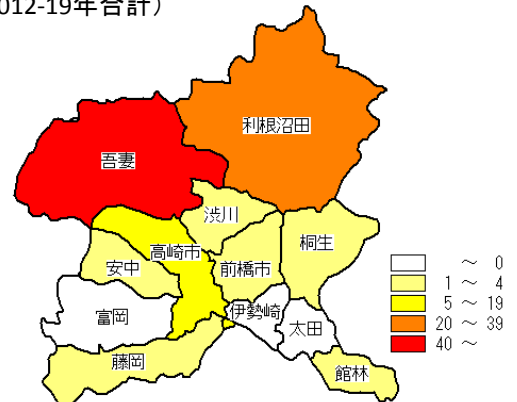
- 群馬県では、毎年10~20例程度の発生報告があります。
- 例年、10月~11月にかけて多く発生しています。
- 吾妻地域、利根沼田地域で特に多く、隣接する地域でも発生がみられます。

暦年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
報告数	13	7	14	16	22	10	22	1*

* 2019年は10月13日までの累計



地域別報告数 (2012-19年合計)



刺し口の例: 国立感染研HPから

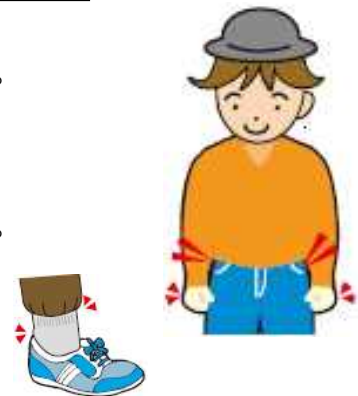
◆ どんな病気?

- つつが虫病リケッチアを持ったツツガムシの幼虫に刺されることで感染します。
- 主な症状は、発熱、発しんで、5~10mm大のかさぶたを伴う刺し口が特徴です。
- 刺し口は、足や胸部、腹部などに多くみられます。

◆ 予防方法

農作業・森林作業など野外で作業する時は、ツツガムシに刺されないように注意しましょう。

- 長袖・長ズボン、帽子や手袋等を着用し、肌を露出しない。
- シャツの袖口は手袋の中に、裾はズボンの中に入れる。
- ズボンの裾は靴下の中に入れる。
- 草の上に腰をおろしたり、寝転んだりしない。
- 作業中に脱いだ上着やタオルなどを草の上に直接置かない。(衣類にツツガムシが付着する可能性があります。)
- 防虫スプレーを使用する。
- 野外で作業した後は、入浴して着替えをする。



◆ 症状が出たら

- 早期治療が大切です。山林・田畑・川原などに立ち入ってから1~2週間後に、発熱や発しんなどの症状が現れた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。
- その際、これらの場所に立ち入ったことを医師に申し出ましょう。

* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染制御センター(群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyo-c@pref.gunma.lg.jp